

臨時レポート

(審査確認番号2018-TB438)

FOMC(米連邦公開市場委員会)1月会合は現状維持

事前の予想どおり現状維持。継続利上げ方針の文言を削除。

- ▶ 今年最初の会合では予想通り金融政策を現状維持。声明文からは継続的な利上げに関する文言が削除され、今後利上げ方針の見直しが示唆された。
- ▶ 市場では利上げサイクルの早期停止観測から、今年の利上げなしを織り込む動きも。

<利上げ方針の見直しを示唆>

- FOMCは1月30~31日の定例会合で、市場の大方の予想通り政策金利を現状維持の2.25~2.50%としました。声明文では経済活動の現状については「底堅く拡大」、物価の現状については「2%近辺で推移する」としました。利上げ方針に関する文言が削除され段階的な利上げ方針の見直しが示唆されました。また、2017年秋より実施されているバランスシートの縮小については柔軟に取り組む姿勢が表明されました。

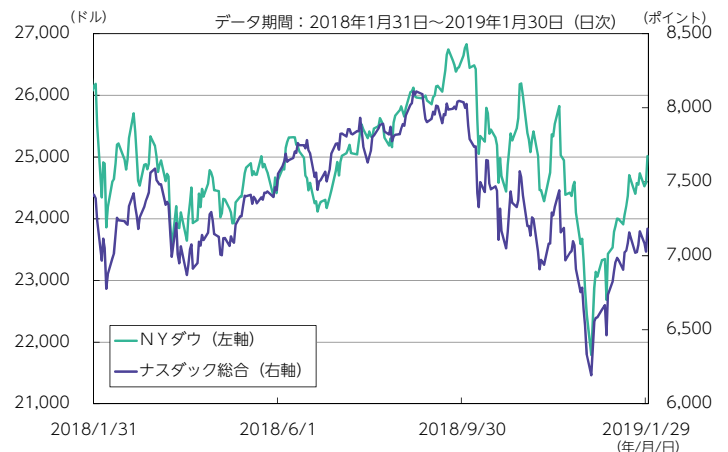
<雇用環境は堅調も景況感の悪化が意識される>

- 1月3日に発表された12月の米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数は、54.1となり前月比で-5.2ポイントとなり、2008年10月以来の大幅な低下となりました。中でも、新規受注は前月比-11ポイントと約5年ぶりの低下幅となり、米国経済の成長減速が意識される内容となりました。
- 昨年12月21日に発表されたFRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ指標としている食品とエネルギー価格を除いた11月のコア個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同月比で+1.9%と前月並みの水準で、FRBが安定水準と見なす2%をやや下回る傾向が続いています。雇用環境では12月の賃金上昇率が前年同月比で+3.2%と前月と同水準ながらも3%台を維持しています。

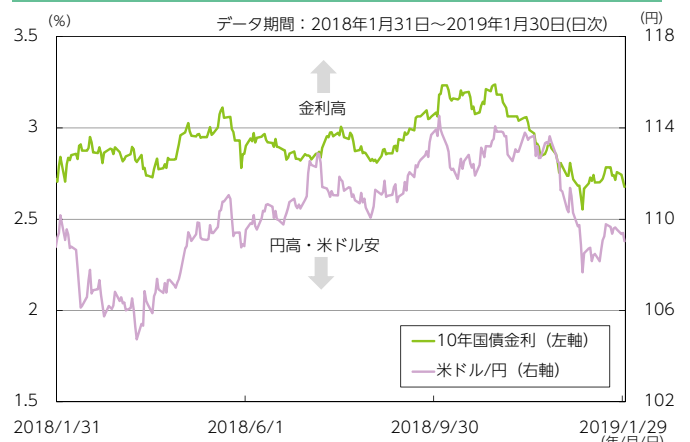
<市場では3月も利上げ見送りとの見方も>

- 年明け以降、世界経済の景気減速懸念などを受け、パウエルFRB総裁を始め各連銀総裁は講演などの発言機会に利上げに対して忍耐強い姿勢をとることを示唆してきました。市場では利上げサイクルの早期停止観測が燻っており、「3月利上げなし」も含め、今年の利上げ回数0回を織り込む動きも出てきています。米国株式市場(NYダウ)は、決算が無難なものとなったアップル株の上昇などを受け、上昇してはまりましたが、利上げ方針見直しを示唆する会合結果がハト派(金融緩和推進派)的と捉えられ、一段と上昇しました。米国債券市場は

図表1：米国株式指数の推移



図表2：米国金利・為替の推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

利上げ期待の後退が意識される会合の結果を受けて、金利は低下(価格は上昇)しました。為替市場は金利の低下を受けて米ドルは売られ、円高ドル安の展開となりました。市場は、昨年末の投資家心理の悪化による動揺が一旦収まったとみられるものの、3月へ向けて米中閣僚級通商協議の行方や一部政府機関閉鎖に絡む歳出法案の審議、債務上限問題の再燃が想定されます。トランプ政権の動向によって、市場が反応しやすい神経質な展開が続くそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>